

あなたとつながる最上町議会

No.176

議会だより

2022年

令和4年4月28日発行

3月定例会



東法田の大アカマツ 次の世代へ

昨年、惜しまれながら伐採された東法田の大アカマツ。今後、伐採された木材を使った楽器づくりや、伐採跡地周辺へ2代目アカマツを植樹する事が決まっています。今回の写真は、東法田公民館前に植えられている2代目アカマツと東法田の子ども達です。大アカマツの詳しいお話しは、裏表紙の「わたしの想い」をご覧ください。

3月定例会

会期：3月2日(水)～11日(金)まで

専決処分の承認 **1**件
一般会計補正予算(第11号)

新たな条例 **1**件
最上町障がいのある人もない人も共に生きるまちづくり条例

条例の改正 **8**件
消防団条例、公民館設置条例
機構改革に伴う関係条例等

規約の制定 **1**件
最上町と山形県との間の行政不服審査法第81条1項に規定する機関の権限に属された事項を処理する事務の委託に関する規約

計画の策定 **1**件
赤倉辺地に係る総合計画の策定

令和3年度
一般会計・特別会計
補正予算 **11**件

令和4年度
一般会計予算 **1**件

令和4年度
特別会計予算 **10**件

議員発議 **3**件

計37件
全会一致36件
賛成多数1件
原案どおり可決

議案審議

命を守る仕事に誇りと自信を!

消防団員の改定内容 ※年額

	改訂前	改訂後
団 長	16万円	変更なし
副団長	8万3千円	▶(1回の出勤につき3,000円の指導員手当)
分団長	5万4千円	
副分団長	4万2千円	▶4万5千5百円
部 長	3万4千円	▶3万7千円
班 長	2万5千円	▶3万7千円
団 員	1万5千円	▶3万6千5百円
1回の出勤報酬	500円	▶1,000円



条例の改正

最上町消防団
最上町消防団の入団を促進し、継続的な活動の維持を図ることを目的に条例が改正されました。

問 待遇面での他にどんな優遇策で担い手を育てていくのか?

答 団員には高い使命感のもと活動していただいており、その労苦に報いるために報酬の改善を図り、更に合羽等の装備品も充実させながら団員の確保に努めてまいります。

条例の改正

本城児童公園の廃止

条例の改正

答 集落自治体活性化交付金にも使用して頂けると考えています。

条例の改正

問 なぜ移動するのか? いまのところからの移転の問題点はないのか?



▲旧月楯小

答 地域の話し合いにより解体も含めて議論されたようです。

問 現在の月楯小のどこを使うつもりか?

答 大正大学が職員室、民具展示を教室棟に活用されているので、給食ホール、校長室、たたみ部屋の3部屋が使われる予定です。

辺地債

赤倉温泉スキー場整備に7940万円を

令和5年のインタハイ、6年の冬季国民スポーツ大会の2つの全国大会開催に向けて7950万5000円の事業計画を最上町は立てました。そのうちの7940万円を「辺地債」で整備します。有利な借入金という位置づけではありませんが、3月定例会での大事な質疑となり



- 辺地債の概要
- ① 公共施設整備のための計画策定
 - ② 充当率は原則100%
 - ③ 元利償還金の80%が交付税措置
 - ④ 毎年、辺地調査により認定

- 最上町の辺地 10ヶ所
- 1 堺田 2 笹森 3 赤倉 4 満沢 5 前森
 - 6 萱場 7 東法田 8 下白川 9 法田 10 志茂

ました。主な質疑は次のとおりでした。

問 夏場の活用は考えていないのか?

答 トレッキング、キャンプ等も含めて考えてまいります。

条例の制定

機構改革 部署変わります

問 会計年度任用職員と正職員の違いをネームプレートで見せていくつもりはないのか?

答 仕事への姿勢は変わらないものとみているので違いの表示はしません。

問 新たな部署の看板の表示など見やすくするチャンスではないのか?

答 そのように捉えており、町民にわかりやすく案内できるように努めてまいります。



令和3年度補正予算 4億9729万2000円増の70億5164万1000円に

問 老人福祉費156万の内訳は?

答 屋根の雪下ろしや間口除雪の支援のための委託や補助のためのお金となります。

問 商工費の「スキー場運営費」530万円の理由は?

答 1月の大雪に對するもので、圧雪車の燃料費320万円、スタッフの報酬に150万円などが生じたためです。

地方交付税4億8117万円と国庫支出金3801万8000円等の歳入を、財政調整積立基金などに3億2378万4000円、除雪対策に8796万3000円などに充てる審議を行いました。主な質疑内容は右のとおりです。



▲最上中学校特別支援教室の間仕切り

問 児童福祉費170万9000円の内訳は?

答 大堀保育園のバスのマフラーが破損、交換するためのものです。

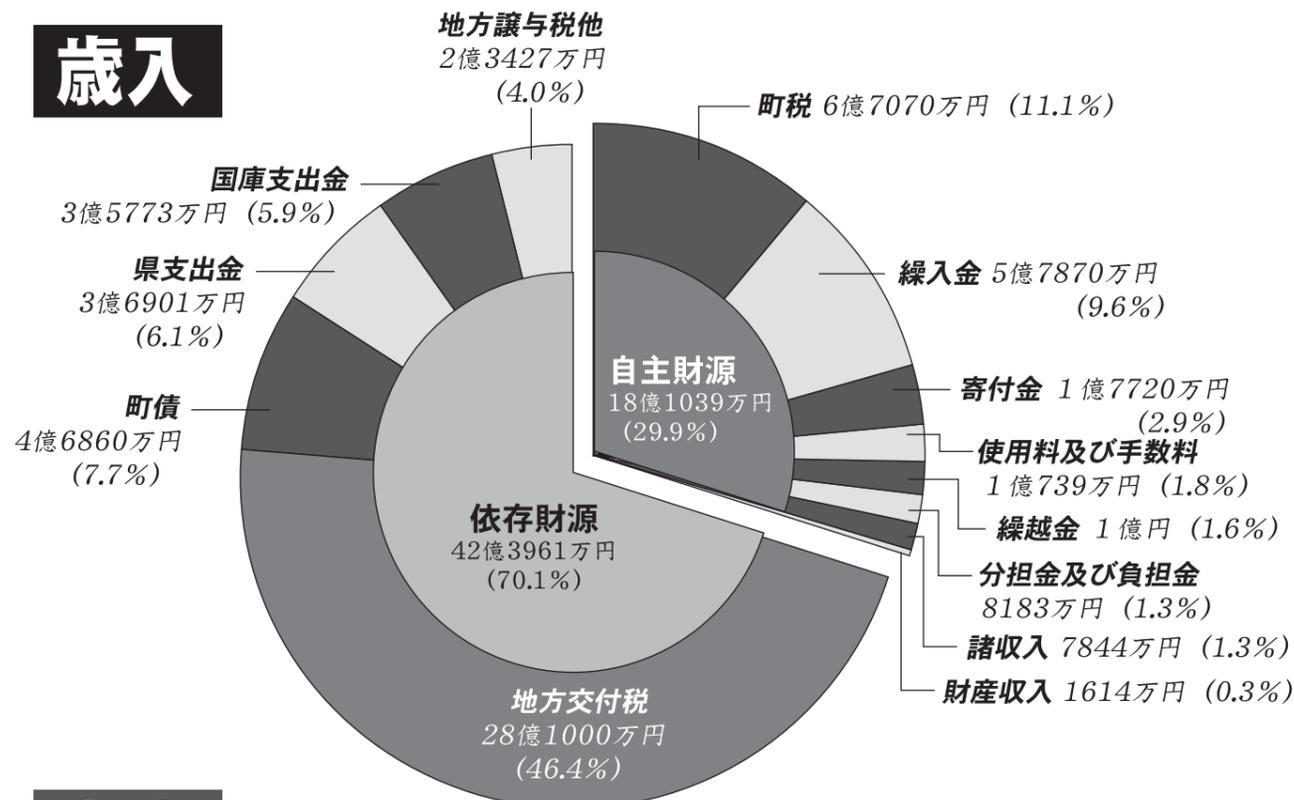
問 中学校の「教室改修費」85万5000円とは?

答 特別支援教室の間仕切り工事のためです。

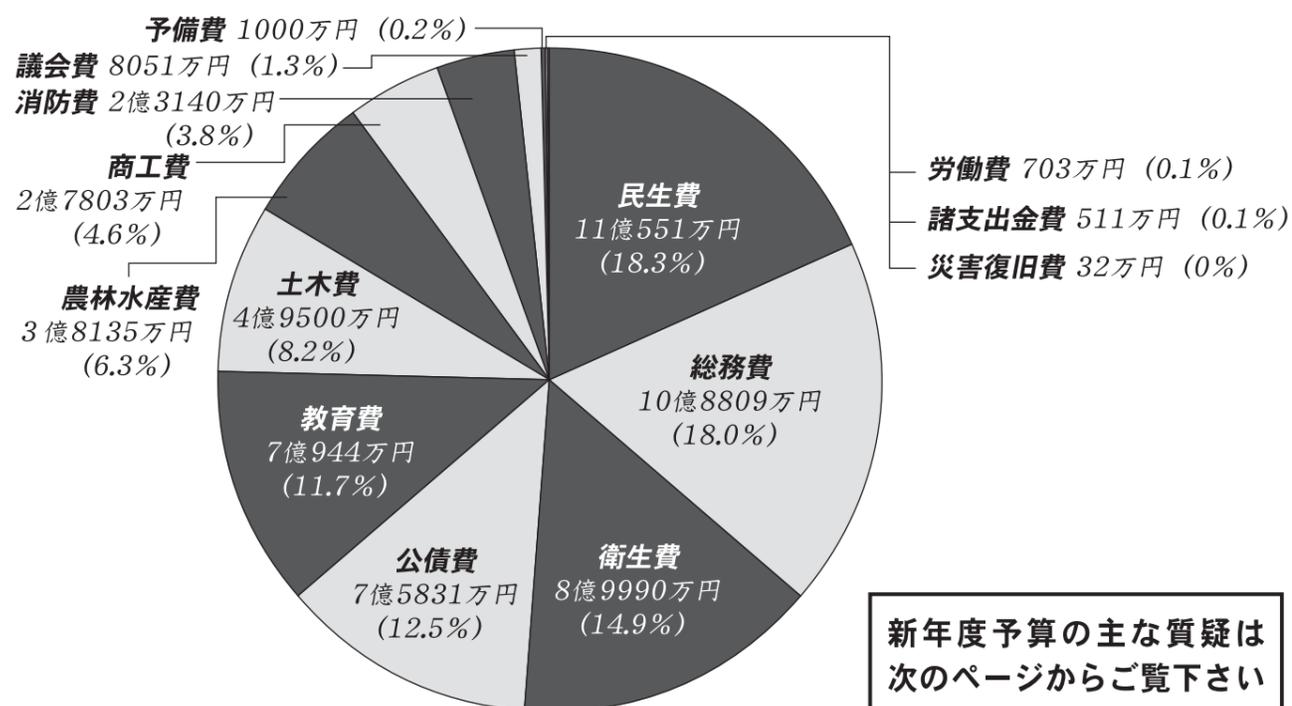
■ 一般会計 60億5000万円 (前年度増減額：+3億5500万円 前年比：+6.2%)

■ 特別会計 48億8951万円 (前年度増減額：-4099万円 前年比：-0.8%)

歳入



歳出



新年度予算の主な質疑は
次のページからご覧下さい

新年度 主な事業

道の駅整備事業 4152万円

※詳細設計委託料、用地取得費、物件補償費等

国道47号、大堀地内に既存の民間施設「ヤナ茶屋もがみ」に隣接して道の駅を整備し、宮城石巻から山形新庄間の国道上に設置することによって観光振興に資するもの



給食センター整備事業

1億1983万円

※炊飯施設及びアレルギー対策室、整備工事請負費等

町内の民間炊飯施設の廃業に伴い、既存の給食センターに新たに施設整備を行うもの



赤倉温泉スキー場整備事業

8290万円

※車両購入事業、電光掲示板更新事業

令和5年のインターハイ、令和6年の冬季国民スポーツ大会に向けて万全の体制を期すべく整備を行うもの



緊急自然災害対策事業

3250万円

※緊急自然災害防止対策工事請負費・測量設計委託料等

東法田地区の沢内川が大雨の時に度々、越水する為の対策工事等を行うもの



特別会計の内訳

【最上病院 12億8510万円】 【介護保険 12億700万円】

【国民健康保険 9億5300万円】 【水道 5億2917万円】 【介護老人保健施設 3億8379万円】

【下水道 2億5227万円】 【浄化槽 1億3088万円】 【後期高齢者医療 1億1600万円】

【農業集落排水 1936万円】 【瀬見温泉 1294万円】

令和4年度 予算特別委員会

コンビニ交付手続き

問 行政手続きのオンライン化に伴って、コンビニ交付サービスが出ているが、具体的にどのような事が出来るようになるのか？また、サービスの開始時期は？

答 マイナンバーカード所持者が、住民票の写しや印鑑登録証明書についてコンビニ交付が受けられるサービスです。利用可能時間は朝6時30分から夜11時まで、システム構築後、早ければ令和4年度内にサービス利用が開始できるようになります。



▲普及用パンフレット

ふるさと納税

問 寄付額の実績を見ると、予算計上額が多すぎると感じるが？

答 現在、9300万円を超えるご寄附をいただいております。町の施策を応援する貴重な財源として、令和4年度の目標額を今年度と同じくしながら、職員一丸となって取り組んでまいります。

問 新たに企業版ふるさと納税にも、積極的に取り組んでいくべきだと思えますが？

答 町が立ち上げる地方創生プロジェクトに企業から賛同いただければ、企業版ふるさと納税にも取り組んでまいります。

町営バス事業

問 新たにバス購入費が出ているが、内容は？

答 現状、前森黒沢・月楯場エリアを走るバスが、8人乗りのワゴン車で、老朽化も著しいため、東エリアや西エリアを走る14人乗りと同様の車両を新規導入するものです。

問 サービス改善の為に、さらなる利用者からのアンケートが必要ではないか？

答 利用者へのサービス向上はより重要であり、予約センターを通じて利用者の声を捉えております。具体的に、東エリアにおいて、満沢定時路線エリアを編入したことにより、乗車時間が伸びたとの声を頂き、この4月からは、エリア内を2方面に分割することで改善して行きます。

ます。更にランドマークも一箇所増設致します。



▲レインボーバス 予約センター

U・Jリーターン促進事業

問 移住定住推進総合対策事業の内容は？

答 多様化する移住相談にきめ細やかに対応するため、移住コーディネーターを設置し、併せてお試し移住体験や交流イベントの開催を委託するものです。

問 今年度の移住者実績は？

答 今年度の移住者実績は27世帯34名で、昨年の婚姻数は28組、令和4年度は30組を目標に取り組んでまいります。

ハザードマップ

問 ハザードマップ更新事業委託料の内容は？



答 平成29年版の「防災本」

については、これまでも町を守る指針として活用されて来ております。

そうした中、昨今の激甚化する各災害を受けて、県が見直しをかけた危険エリアや避難情報の発令

基準等について、適切に反映させたものとするために、今回のハザードマップの見直しを行うものであります。

水田活用直払交付金

問 水田活用の直接支払交付金について、5年に一度水張りしなければならぬことについての説明と町の対応はどうか？

答 今後5年間において一度も水稲を作付けしない水田を交付対象から除外することや、令和4年度から飼料用米の複数年契約加算金を半減すること、当年に播種をしない牧草に対する交付金の大幅な減額等などが示されております。

このことは、作物転換をすすめてきた農業者や関係者の努力が報われず、

農業経営に大きな影響を与えることから、耕作放棄地や離農者の増加などによる農業農村の存亡の機にかかわると受け止めております。地方の声を届けるとともに、これらに対応した、施策が必要となっております。

中山間地域等直接支払交付金

問 中山間地域等直接支払交付金事業の実績と今後の進め方は？

答 本事業は、平坦地に比べて耕作条件が不利な中山間地に交付金を交付



▲水張りが難しい転作田もある

することで格差を是正し、耕作放棄地の発生を防止するための事業です。個別の営農継続と併せて地域ぐるみで営農を継続する体制を整備するために交付金を活用することができま。令和3年度は、15地区が取り組んでおり、4年度は18地区で727ヘクタールのエリアで取り組む計画です。今後も、地域での話し合いに積極的に参加しながら、合意形成が固まった地域について取り組みが図られるよう推進してまいります。

道の駅

問 今年度事業費4151万円計上していますが、今後の詳細な進め方は？

答 本年度行ってきた道の駅整備にかかる不動産鑑定業務や補償物件調査の結果を元に、必要な

地取得を行います。
また、道の駅整備として建屋、パーキングエリア、浄化槽など主要な施設の詳細設計に入ります。
同時に施設を最大限活用するソフト部分の充実を図るために開催している観光・産業・運営の各部会において、関わっていく人材の育成と、完成された企画の立案を行っています。

流雪溝整備

問 瀬見地区の国道沿いの流雪溝整備も必要だと思いが、新年度の整備計画は？

答 昨年度、若宮地区の国道において流雪溝を整備し、今年度より利用を開始しております。
また、月楯地区の県道においても流雪溝の整備を行っており、来年度に

完成する予定であります。瀬見地区の国道においては、次年度以降の計画はありませんが、歩行者の通行に大変危険であることから引き続き強く国へ流雪溝の整備を要望してまいります。

新庄北高 最上寮

問 整備状況と地域みらい留学フェスタの取り組み状況は？

答 現在14人入寮しており、新入生の入学に備えて浴



▲「最上寮」当校の様子

室に続き居室の整備を行っています。令和5年度からは県外からの入学も可能になり、全国募集に向けて都市部の中学生とつながる「地域みらい留学フェスタ」というイベントに参加予定です。最上校のPRビデオの製作に着手し、生徒さんの生の声も集めて最上校と町の魅力をアピールしていきます。

学習用パソコン

問 利用状況と通信環境整備の状況は？

答 一人一台端末を昨年整備し、長期の学校休校などに備えて週末の家庭への持ち帰りや接続のしかた等に慣れてもらっています。ご家庭へ貸し出す接続機器も準備しています。

予算特別委員会報告

予算特別委員長 佐澤 浩

予算額60億500万円、特別会計予算総額48億3951万円で、総額109億3951万円であります。注視しなければならぬ点は、義務的経費39億650万円の中で、人件費が12億2427万円と前年度とほぼ同額であります。

令和4年度からは機構改革が始まります。人口減少の進む中で適正な職員、任用職員数を定めていかなければなりません。投資的経費の中の普通建設事業費は、前年比2億1231万円の増であります。

その要因は、道の駅事業米飯給食設備事業、赤倉温泉スキー場の電光掲示板更新工事などあります。町税においては、前年対比921万円の減であります。特に減少額の大きいのは町民税が前年比762万円の減で、要因としては
①米価下落による農業所得の減少
②コロナ禍により宿泊施設や飲食店の売り上げが減

少。当然、入湯税も同じく減少。
③納税義務者の減少であります。

今後にも限られた財源を、重要施策に配分し人口減少社会に対応し、将来にわたって住み続けたいと思う持続可能な町づくりを進めていかなければなりません。自主財源の乏しい本町であっても、町民の多様なニーズに的確に、かつ責任を持って応えていくためには、行財政改革の姿勢を継続し、経費の節減と効果的な効率化を徹底する『不要不急の歳出』のあり方を含め質疑された予算委員会でありました。令和4年度最上町一般会計予算並びに令和4年度最上町国民健康保険事業特別会計予算から、令和4年度最上町浄化槽事業特別会計予算までの10件についても、委員全員をもって原案の通り認定すべきものと決しました。

【陳情】 皆さんからの声を審議いたしました

採択
陳情 コロナウイルス感染症に関する経済支援等について

提出者 瀬見温泉旅館組合長 高橋 昌裕
赤倉温泉観光協会旅館部会長 石山 崇人

要望事項

- ①令和4年度 固定資産税の減免
- ②令和4年度 温泉使用料の減免
- ③令和4年度 水道使用料の減免
- ④経営安定化緊急支援金の再給付
- ⑤入湯税を財源とする「もがみ温泉郷プレミアム利用券」の販売
- ⑥「最上町観光振興対策事業」の再給付
- ⑦予防接種3回目の早期実施

採決理由

①と④は町民との公平性も鑑み、町の財政状況・運営を考慮しながら検討すべきと決定



その後、臨時会にて対応しています。詳しくは、15Pに掲載



▲先の見通せない感染状況の中、事業者支援の継続が求められる

【発議】 意見書を国の関係省庁等に提出しました

採択
議員発議第1号 水田活用の直接支払交付金の見直しに関する影響緩和策の実施についての意見の提出について

提出者 岸 錦也 議員

要旨 水田活用直接支払交付金の見直しは、大きな衝撃であり、農業経営に大きな影響を及ぼすにとどまらず、耕作放棄地や離農者の増加などによる農村の存亡の危機にかかわる問題です。持続可能な農業の維持・発展に向け要望するものです。

議員発議第2号

採択
豪雪災害に対する支援の拡充を求める意見書の提出について

提出者 宮本 浩 議員

要旨 道路除排雪予算の執行額が過去最大となっており、数次にわたる補正予算を編成しながら、対応せざるを得ない状況であるなど豪雪対策への財政負担は極めて大きくなっている。よって、財政支援等の措置を講じられるよう要望するものです。

議員発議第3号

採択
ロシアのウクライナ侵攻に抗議する決議

提出者 尾形 勝雄 議員

要旨 最上町議会は、ロシアがウクライナへの侵略に対し、抗議するとともに、即時無条件でのロシア軍の完全撤廃を強く求める。また、政府においては邦人の確実な保護や我が国の影響対策について万全を尽くしていただきたい。

謝罪

定例会最終日にて

大沼 正視 議員

数期にわたって理由なき遅刻、欠席を繰り返した事を皆様方にお詫びさせてもらいたいの考え方で壇上に上がらせて頂きました。

私も4期目に入りまして、いろいろ経験してきましたが、とても悔やんでおります。

二度とこのような事の無きように、挽回する事に努力をし、地域住民の為に責務の為に頑張っていく所存でございますので、改めて、お詫びしたいと思います。すいませんでした。



町政を問う

5 議員が一般質問



※掲載している文章は抜粋したものです 詳しくは議会中継の議員名から選りご覧下さい

コロナ禍から見えてきた 地方の暮らし



尾形勝雄 議員

町長答弁 移住希望者の 相談に総合窓口の設置検討

質問 全国では新型コロナウイルスの収束の兆しが見られない状況が続く、町内では集落の大事な行事や事業など中止が相次いでいて、コロナ禍が3年を迎え集落内の情報等の絆も希薄にならなにか心配されてきています。今後の町の取り組みについて伺います。

又、町では人口減少問題があり、東京から地方に人が流出しているタイミングを見逃さない対策を具現化することが大切であり、今

答弁 未だコロナの収束が見通せない中、東が見通せない中、コロナ禍を乗り越える支え合いの地域づくりに向けて、行政のみならず集落支援員や生活支援コーディネーターと連携を図りながら気軽に話し合える場、更には地域課題の協議の場づくりに努めていくことが肝要と捉えております。

又、かつての移住定住相談では「田舎で暮らしたい」「農業がしたい」という素朴な内容が多かったものが、今は「住まいや仕事」「教育や子育て」など多様化しており、インタ

支えることを念頭に置いて、令和4年度から新たに始まる第5次総合計画をスタートに、議員が示してくれました4本の柱。

【第一章】
人に優しい町づくり
※子育て大国最上町の推進

★子供を安心して生み育てられる町づくり
★笑顔がいっぱい「子育て憲章の制定」
★豊かな心と高い知識を育む学校教育の充実

【第二章】
食に優しい町づくり
※健康と福祉の町づくり

★米飯給食施設の導入
★健康と福祉の町づくりの推進

★コロナ禍の終息・ワクワクン接種の推進
★生涯現役「笑子光老化」
★支え合う住居環境の充実

6 期目の進退について

町長答弁 引き続き頑張って参ります



佐澤 浩 議員

質問 永遠の課題であります自治協働のまちづくりなど、
協働のまちづくりなど、
艱難辛苦を乗り越える不退転の決意、6期目への進退について伺います。

答弁 私の政治理念は自治協働のまちづくりであります。その中で何よりも優先しなければならぬ課題は、コロナの終息と経済再生であります。

今後の第2期地方創生戦略ビジョン「都市と地方の共生社会」「人を呼び込む・人を生み育てる人

【第三章】
環境に優しい町づくり
※バイオマス産業都市の推進

★ゼロカーボンシティの取り組み
★SDGsへの貢献
★森林経営管理制度活用
★森林ノミクスの推進
★森林環境譲与税の推進

【第四章】
持続から発展の町づくり
※産業振興
※農観商工連携・6次産業化

★商工観光振興・企業誘致促進
★担い手を中心とした集落営農推進。基盤整備の推進・体験交流促進。デジタル化・スマート農業。道の駅もがみの設置。国道47号線境バ

「もつと自分の人生を深く、幅広くできるのでないか」という可能性に気づき、都会から移住された方が新しい価値観で挑戦し、うねりを生むことで、まちの活性化が図られて行くものと期待するところでもあります。

移住・定住対策の担当は、引き続きまちづくり推進室内に定住促進センターを設置して取り組んで参ります。



▲まちづくりは俯瞰で



▲移住・定住の具現化が大切

文化観光の推進事業とは？



町長答弁 民間団体と議論しながら進めます

質問 第5次総合計画の基本施策に掲げた文化財の保全と活用、及び観光施設の利用拡大と活性化について、この双方を包括的に連携して活かしていくのが、文化観光推進事業と位置付けられると考えています。

宮城県との県境に位置する重要文化財「封人の家」が、文化観光拠点施設として最もふさわしいと捉えており、瀬見・赤倉両温泉地と結び付け、神社仏閣を始めとする多くの文化素材を繋げて面により、

答弁 現在、複数の民間有志団体があり、芭蕉来訪333周年の年に合わせ、協働のまちづくりとして、人材育成の強化を図りながら、文化・観光・経済が一体となった好循環を、充実発展させて参りたいと考えております。起爆剤となり得る企画を打ち出したいと考えております。当町が持つ自然、文化、人、産業といった魅力を最大限に活かしながら、民間団体と十分議論しながら進めて参ります。



▲封人の家

赤倉温泉スキー場での全国大会の受け入れ態勢は？



岸 錦也 議員

町長答弁 町実行委員会を立ち上げ万全を期して参ります

質問 赤倉温泉スキー場に令和5年2月全国高等学校スキー大会・令和6年に国民スポーツ大会冬アルペン競技が決定しました。大会運営の確実性と運営スタッフの充実が決定の理由とお聞きしました。

今年スキー場のヒュッテが一軒営業を休業しました。町としてヒュッテを借り受けて営業しなければ全国の皆様に不快な思いをさせないか心配しております。赤倉温泉組合と瀬見温

泉との受け入れ態勢の打ち合わせは出来ているのか。大会誘致をするにあたり競技運営の教育委員会と、スキー場の運営は交流促進課ですが打ち合わせを密にして、落ち度のない様に大会に臨んで頂きたいがスケジュールをお聞かせ下さい。

スキー大会最上町にふさわしい、大会ができるよう計画準備諸問題を解決し全国の皆様を迎えられる様、悪い評価が全国から出ないようお願いします。

答弁 最上町における全国規模のスキー大会開催につきましては、これまでも数多く開催して参りました。

平成16年2月開催の第59回国民体育大会冬季大会「山形もがみ国体」では、当町を会場に、総合開会

式とアルペン競技が開催されました。

スキー大会の規模を問わず記録の計時、コース整備、会場設営などに多くの地元の競技役員、指導者、宿泊施設の方々のご協力あって大会運営が成り立っております。

令和5年2月開催の第72回全国高等学校スキー大会、そして令和6年の国民体育大会冬季大会に向けては、すでに準備委員会を立ち上げ、具体的な準備に入っており、4月には町実行委員会を立ち上げて参ります。

また、令和4年度予算には、県高体連に支出する開催地負担金と、圧雪車及び電光掲示板の改修予算を計上しております。老舗のヒュッテが急遽休業となつてしまいました。グレンデの一部に選手、コーチ等の荷物置き場を設置せざるを得ませんでした。

質問 住民目線の温泉料金は？

答弁 議員からは、先の12月定例会でも町の公共温泉施設の料金体系と併せ、町営バス事業について、ご質問をいただきました。「せみの湯」の利用体系において、小学生以下は無料である点と、地域住民の利用年額が360円であることにつきまして、「せみの湯」は、公衆浴場法上の保健衛生に係る施設分類とされることから、安価な金額設定が取られているもので



▲楽しい赤倉温泉スキー場

ました。来シーズンに向け、スキー場を管理する交流促進課と、大会を運営する教育委員会とで十分協議を行い、スキー客の休憩場所も含め、こうした課題や反省点に対処して参ります。

四月からは、教育委員会内に対策室も設け、大会の開催、そして成功に向けて準備に努めて参りますので、宜しくおねがいします。

会計年度任用職員からみる行政運営は

町長答弁 行政サービスの質を 低下させないことを目指す



山田則雄議員

質問 正規職員を減らし、会計年度任用職員が業務をスムーズに行えるのか不安があります。また、国の同一任用制度と「同一労働・同一賃金」の姿はどういうものか。会計年度任用職員も同一に近づける努力をすべきと考えますが？

答弁 現在、当町においては、80名に及ぶ会計年度任用職員が業務に当たっております。全職員数の約3分の1を占めており、このことから行政運営に果たす役

割は、極めて大きいものがあるといえます。正規職員と会計年度任用職員との「同一労働・同一賃金」の処遇の面では、業務の内容や勤務時間、責任の度合い、その名称の通り年度ごとの雇用期間であることから、なかなか「同一労働・同一賃金」とまではいかないのが現状であります。

質問 堺田地区は地形、自然環境が除雪の雪で個人宅に問題を起す事もあり「事前の情報交換で除雪のあり方」を改善出来ないか？

答弁 例年にならない大雪被害を懸念、2月6日に豪雪対策本部を設置し雪対策の情報を共有しました。昼夜を問わず除雪作業オペレーターの方々には頭が下がりますが、当町は延長80キロを16班が深夜から7時の作業で道を守っています。堺田地区は、笹森、松根地区をまたぐ除雪で、8キロの道を1台で行っ



▲行政サービス維持のために...

ており、早めの除雪で、出勤時に更に1回、1日3回もあります。降雪前には、雪対策関係機関連絡協議会や区長会雪対策プランシートでの集落の意見集約を行っておりますが、今後も住民の皆様のご意見をいただきながら、効率の良い除雪を行ってまいります。

臨時会

3/22 (火)

一般会計補正

6325万2000円

新型コロナウイルス対策・温泉旅館・商店等を追加支援
温泉旅館への支援
プレミアム商品券

問 瀬見温泉の特別会計繰出金の内容は？

答 3月定例会での両旅館組合からの陳情を受けて、瀬見温泉で源泉供給を受けている使用料を上半期6カ月分減免するものです。さらに、せみの湯での感染症対応に伴う有人化に関わる人件費です。

問 宿泊施設で利用できる「もがみ温泉郷プレミアム利用券」の事業内容や県などの助成事業と併用出来るのか？

答 前回と同様の事業内容で、1万円の宿泊利用券を5000円で1600セット販売するものです。Gotoキャンペーンなどの助成事業とも併用できます。

問 燃料費の高騰が続く状況なども鑑みて、他市町村のように町民に一律で商品券を配布する考えはないのか？

答 今回で第4弾になりますが、今までも事業所の経済支援費用対効果という観点から事業を行っています。事業費が約2000万円の販売実績等を鑑みると約7000万円の経済効果が生まれると考えています。国からの交付金の使途に關しては、ガイドラインで一律配布の様な形は、なじまないと考えています。ですが、今後のコロナ感染症の状況も見極めながらさらなる対策も考えていきたいと思っております。

令和4年度 最上広域市町村圏事務組合

最上広域市町村圏事務組合とは、最上8市町村で構成されている事務組合で市町村の枠を超えた共通の行政事務を行っています。主なものとして消防・救急業務、ごみ処理施設・各種衛生施設、教育研究センター、広域交流拠点施設(ゆめりあ)などの運営を行っています。審議する機関として組合議会があり、定員18名(うち最上町2名)となっています。



▲建て替え予定の消防庁舎

□令和4年度予算

一般会計：28億9100万円

最上広域ふるさと市町村圏事業特別会計：1046万円

最上町分担金：3億1419万円(昨年度対比 -139万円)

□主な新規事業

最上広域交流センター ゆめりあサイネージリース事業 125万円

新たに9台のモニターを設置し、SNSやホームページ等のあらゆる情報媒体を連動させ、より効果的に幅広く情報発信能力の強化を図るもの

エコプラザもがみ 施設修繕整備計画審査事業 501万円

施設の修繕や工事にかかる整備内容や費用の妥当性等についてコンサルタント会社による調査及び精査等を実施することにより、さらに効率的な施設の維持管理を図っていく

新消防庁舎建設整備事業 5985万円

現庁舎は建設から39年が経過し施設の老朽化、また浸水地域に立地しているため浸水被害も想定され、高機能指令センターについても耐用年数の限界を迎えるため、災害活動拠点としての機能を発揮できる消防庁舎の整備を目指すものである

教育研究センター 新算数・数学教育事業 1076万円

教育研究センターに算数・数学指導を主務とする指導主事を配置し、こどもたちの体験活動、学校現場での授業改善を進める研修をおこなうものである

一般質問

臨時会・広域事務組合

小林議員
から見る

議会の主な動き

※誌面の都合上、主な行事より抜粋し掲載

1月6日 ゼロカーボンシティ宣言式

最上町のこれからの大きな指針となる宣言式。山形県内でも先進地である最上町の可能性を改めて感じました。さらなる取り組みで差をつけてほしいものです。



2月15日 最上町教育懇談会

かつて最上町に開設された「パリス幼稚園」の園長で、現在、新庄のみならず仙台でも展開している教育理念を共有しました。3つの学びの構成はオトナにも通じるものがありました。



3月3日 議会全員協議会

「水田活用交付金」や「豪雪支援」の在り方について執行部から様々な状況を聞き出し、国への意見書の提出に結びつけました。最上町の底力が問われている課題です。



わたしの想い



柴崎 幸正 さん
東法田の大アカマツは、1993年(平成5年)に全国で一番太い松の木に認められ、町の天然記念物から県による大アカマツの天然記念物に指定された。2021年(令和3年)の春(6月10日)に伐採。枯死状態から倒木の危険性があるため、大アカマツ周辺の杉林(町有林)を伐採し、その後樹齢約600年・幹回り約8.5mあった巨木は、終焉を迎えた。写真は東法田公民館の入口前にある松の木で、育種センター東北育種場(岩手県)に協力を依頼し、2009年に

野頭の昌泉寺をはじめ東法田内に数10本ほど植えられているクローン松(2代目アカマツ)の1本である。跡地の利用方法として、地元の住民は「2代目アカマツ」の移植を希望していたが、令和4年春頃元の大アカマツ周辺の自生地から少し下った山の中腹に新たに、これからの大きな歴史を刻むことが決まった。又県としては、杉林の跡地に2千本の広葉樹を植えてくれとの要請があり、今後予定としては、幼稚園児や向町小3年生(45名)と地元有志の人々による協同の記念植樹を計画している。初代大アカマツと同様にこの2代目アカマツが、未来の子供達のパワースポットとなるように見守って行きたい。

議会傍聴へのご案内

次回の定例会は **6月** 定例会です

お問い合わせは議会事務局まで ☎43-2362 (直通)

議会インターネット配信

今定例会の視聴回数 **1781** 回

議会傍聴者数 **23** 人でした



QRコード

傍聴席へ上がる階段が暗く危険でしたが、照明を設置しています。皆様の傍聴をお待ちしております。

過去の定例会、一般質問も町のHPからご覧になれます

編集後記

長く厳しかった冬も春の兆しを感じ新緑が鮮やかに映える季節となりました。

世界ではロシアによるウクライナ侵略で住み慣れた地を追われ幼い命が奪われ心が痛みます。断じて看過できない悪業です。

国内では新型コロナウイルスのオミクロン株が感染急増して経済も低迷し、収束は見通せません。3回目のワクチン接種を行い、三密を避け頑張りましょう。

議会だよりは、今年度から表紙と裏面を年2回カラーで発行する事になりました。町民の皆様により分かりやすくなるよう、努めてまいります。

【発行責任者】

議長 伊藤 一雄

【広報編集委員会】

委員長 宮本 浩

副委員長 小林 守

委員 佐澤 浩

菅 孝

岸 錦也

山田 則雄